

令和2年度

小・中学生フォーラム in 牛込第三中学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

3月12日（金）、牛込第三中学校（市谷加賀町1-3-1、校長：伊藤裕一）の3年A組28名、B組29名、C組29名が、「世界に誇る私たちの故郷・新宿」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、生徒たちは数人ずつのグループに分かれて、新宿の名所や名産、ゆかりのある人物、街の特徴などについて紹介する「かるた」を作成し、発表しました。かるたの題材は、「神楽坂の阿波踊り」「花園神社」「内藤とうがらし」「夏目漱石」「江戸更紗」など多岐にわたり、読み札、絵札ともに、それぞれの題材の魅力が簡潔に伝わるよう工夫されたものが多くありました。

発表に引き続き、区長と生徒たちの意見交換が行われました。生徒から「区長から見た新宿の魅力」「区長自身が区内で好きな場所」などについて質問がありました。最後に区長から、これから新宿区がよりよいまちになるために必要なこととして、「オンライン化など便利になっていく一方で、信頼関係を築く機会が減ってきている。今日皆さんがかるたの題材に挙げてくれたものは、それを好きだと思えるようになったときの体験や、その時の感情が背景にある。実体験に基づいて愛着がわくようになる機会や、共感する仲間を増やすことで、より多くの人に新宿に関心をもってもらおう求心力になる。」と話がありました。

新型コロナウイルス感染拡大による影響で、卒業直前のこの時期に延期して開催されました。受験が終わった後の短い準備期間でしたが、「私たちの故郷・新宿」に対する生徒たちの誇りと愛着が感じられる、有意義なフォーラムとなりました。

